

元来各等取入トルル處ハ藝妓ヨリ受ルル儀ニ重キヲ置キ
 今日迄テ生活ヲ維持シ來タリシモ近來各等取入激
 減シ再ビ旧ニ復シ難キ事明白ナル事ハ多ク斯ノ如キハ不
 景氣ヨリモ公口時勢進展ノ然ラズニ處ニテ藝妓ト帳
 場負トノ取入ノ差ハ甚クシ均衡ヲ失ルルヲ以テ本項ノ
 要求ハ友情ノ上ニ理論ノ上ニ當然ナリト存ツ支
 一過去ニ於テハ養成費及娼場助賃等藝妓トニテ豫カシ
 諸費用ノ金額ト共行使シタルモノ明記簿ヲ一般ニ示
 シ共ノ便違ヲ明カニスル下
 一駒探場ノ義務的ニ組ノ者交代ニ座リ共仕ニ當ルニ下
 一組長ハ各組ノ者ニ進シテ出ダス事
 一各組共ニ毎月二日ノ定休日ニ興アルコト
 一吾ニ妓トニ於テモハマシテハ其ノ長シク其ノ短シク其ノ善シク其ノ悪シク

其ノ生命ヲ附塊シモノナハ理由ノ元ニ解雇セル場合ニ於テハ
 相當ノ解雇手當ヲ支給シ一家ノ保証ナリコトナリ下
 一右ノ要求ニ対シテ相當ノ理由ノ元ニ実行不可能ナル場合
 三旧來ノ藝妓取扱方法ハ花番制度ヲ撤廢テ持テ
 坂ヒニ制度ヲ改メコトナリ事
 右ノ要求項目ニ対シテ何九千七百餘圓春迄ヒ下度矣
 大正十四年二月二十八日

連名一同

共立檢藝妓組合
 重役 御中